

< 亜臨界水の利用 >

・ 基本分類

(1) 抽出物質の利用

(2) 分解廃棄

産廃

一般ゴミ

有害物質

その他

(3) 別用途

・ 具体的な進め方

1. 抽出物質の有効利用

(1) 対象物質の絞込み

技術的に有利な物質の提案・・・大学

a. チャヤミカン (予備実験済)

b. ヘマトコッカスのアスタキサンチン (今後の取組み)

c. その他

特許、研究情報の調査 (事務局)

企業側のニーズ (事業目的から決定)・・・参加企業

a. 企業からの提案 1

b. 企業からの提案 2

c. 企業からの提案 c

と からのターゲットの特定化 (事業化テーマの決定)・・・大学・参加企業

A. 事業化テーマ 1

B. 事業化テーマ 2

C. 事業化テーマ 3

予備実験の実施 (可能性の判断)

(2) ターゲット別事業化研究

抽出条件の確立・・・大学・参加企業

・ 温度

・ 圧力

・ 保持時間

・ 対象の形状、性状

最適条件の確立

ノウハウの習得

(研究プラントの設置必要性の判断)

従来技術との比較・・・大学・参加企業

・ コスト (生産性) 設備投資金額

・ 安全性 (プラントメーカーとの協力)

・ 品質

・ 環境との協調性

2. 分解廃棄

(1) 対象分野の絞り込み

亜臨界水のメリット・・・大学

- a. 分解性
- b. 分解特性
- c. その他

企業ニーズ（事業目的からの決定）・・・参加企業

- a.
- b.
- c.

公共機関の積極的な支援・参加の要請・・・事務局

市場性調査・・・参加企業・事務局

と からターゲットの特定化（事業化テーマ）

- A.
- B.
- C.

予備実験の実施（可能性の判断）



(2) ターゲット別事業化研究

分解条件の確立（目的別に異なる）・・・大学

- ・ 温度
 - ・ 圧力
 - ・ 保持時間
 - ・ 対象の形状、性状
- } 最適条件の確立
ノウハウの習得
(研究プラントの設置必要性の判断)

従来技術との比較・・・大学・参加企業

- ・ コスト（生産性） 設備投資金額
- ・ 安全性 (プラントメーカーとの協力)
- ・ 品質・・・廃棄先の選択性
- ・ 環境との協調性
- ・ ビジネスモデルの特徴・・・物流・運搬

(3) 事業形態のあり方・・・参加企業・事務局

- ・ 公共、
- ・ 一社 or J . V . など